

Ⅲ. 妊娠中毒症の安全管理に関する研究

分担研究報告書

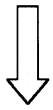
大阪市立大学医学部産婦人科

須 川 侑

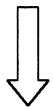
上記分担研究課題に関する第2年度の研究は、A. 妊娠中毒症の診断基準に関する研究、B. 妊娠中毒症発症の背景因子に関する研究、C. 妊娠中毒症の病型別・重症度別にみた母児障害の発症に関する研究、D. 胎盤機能・児発育成熟の判定に関する研究、E. 妊娠中毒症における栄養管理・薬物療法に関する研究の5つの細分課題について行われた。

本症はその病態論が十分に解明されておらず、疾患名、診断基準、管理の実際など国際的にみても統一された見解が無く、なお学説の疾患として多くの問題が残されている。しかしながら多数症例の調査検討により次第に問題点が整理され、本邦における妊娠中毒症の安全管理の指針も近い将来設定される気運にある。

以下本年度の各細分課題に関する研究の概要を集録し、次年度におけるまとめの資料としたい。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



・妊娠中毒症の安全管理に関する研究

分担研究報告書

大阪市立大学医学部産婦人科

須川 侑

上記分担研究課題に関する第2年度の研究は、A. 妊娠中毒症の診断基準に関する研究、B. 妊娠中毒症発症の背景因子に関する研究、C. 妊娠中毒症の病型別・重症度別にみた母児障害の発症に関する研究、D. 胎盤機能・児発育成熟の判定に関する研究、E. 妊娠中毒症における栄養管理・薬物療法に関する研究の5つの細分課題について行われた。

本症はその病態論が十分に解明されておらず、疾患名、診断基準、管理の実際など国際的にみても統一された見解が無く、なお学説の疾患として多くの問題が残されている。しかしながら多数症例の調査検討により次第に問題点が整理され、本邦における妊娠中毒症の安全管理の指針も近い将来設定される気運にある。

以下本年度の各細分課題に関する研究の概要を集録し、次年度におけるまとめの資料としたい。